

森(毛川)・盛(毛川)・オホーツク

No. 4 平成27年6月25日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター



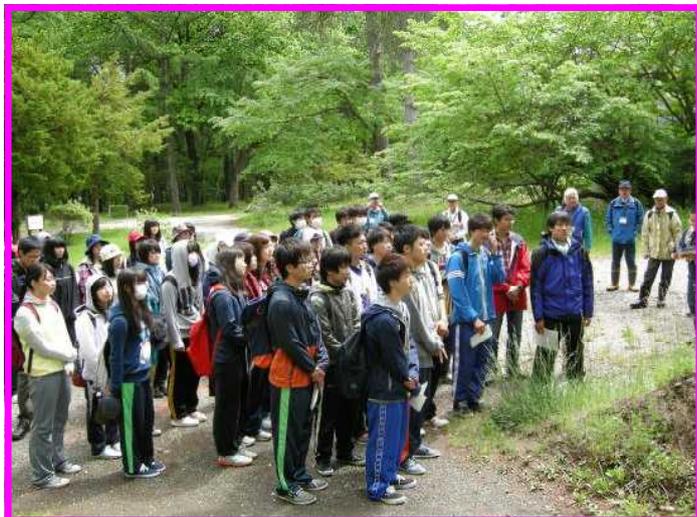
身近な自然とふれあう 【日赤看護大フィールドワーク】

6月5日、日本赤十字北海道看護大学の要請を受け、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力のもと、野付牛公園で一年生59名を対象に野外授業「フィールドワーク」を行いました。

当日は、小雨模様かつ最高気温が12℃と4月中旬並みの寒さの中での活動でしたが、学生たちの若さと「オホーツクの会」の皆さんのパワーのおかげで乗り切ることができました。



このフィールドワークは、今年で3回目になりますが、身近な自然とふれあい、学ぶことを目的に行われているもので、11.8haの公園を8グループに分かれて、カモフラージュやフィールドビンゴなどのゲームを交えながら、およそ2時間にわたり学習しました。



参加した学生からは「ゲームが楽しかった」「普段目にとめていないものをじっくり見ることができとても面白かった」「自然が好きになった」などの感想がありました。

また、アンケートでは67%の学生から「今後、森林散策等があれば参加したい」との回答がありました。

生田原教育センター森林教室

子どもは元気…

6月20日、遠軽町生田原教育センターの要請を受けて、「キッズ／チャレンジクラブ」として、オホーツクの森で子どもたち16名を対象に森林教室を行いました。

当日は、「オホーツクの会」の協力も得て、森林散策、ターザンロープ、ブランコ、丸太切り体験、クラフト作成などに挑戦、川遊びでは夢中になりすぎて「深みにドボン！」というシーンもありました。

子どもたちの元気さに振り回されて大人はタジタジ、ヘトヘト…という状況も見られましたが、最後の「**ありがとうございました！**」の元気なあいさつに疲れも吹っ飛んだようです。



元気の証拠？



森に咲く花 NO.3

<カラマツソウ>

キンポウゲ科、高さ 50 ～ 80cm になる多年草。

日本の固有種であり、低地～亜高山の明るい所に生え 6～8 月に花を咲かせる。

葉は「3～4回3出複葉」で先が3つに浅く裂ける。

花がカラマツの葉の付き方に似ていることからその名が付いた。

白い花は雄しべの集まり。

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/